

00:00:00.000 --> 00:00:03.168

支援者「何回かに一回...」

00:00:03.168 --> 00:00:05.168

店員「大前提として言いますね」

支援者「うん」

00:00:05.168 --> 00:00:07.338

店員「あの支援者という方は」

支援者「うん」

00:00:07.338 --> 00:00:10.865

店員「わざわざその安いのを選んで頼んだりはされないんですよ」

00:00:10.865 --> 00:00:13.731

店員「何回に1回とかって言わないんですよ」

00:00:13.731 --> 00:00:14.672

支援者「ふっw」

00:00:14.731 --> 00:00:18.697

店員「それはもう、真に、気持ちから発生しているものなので」

支援者「あー」

00:00:18.697 --> 00:00:21.619

店員「そういうことは形式的なことは言わないんですよ」

00:00:22.229 --> 00:00:27.962

店員「これは〇〇さんのどういう風に受け止めるか、どういう気持ちなのかっていう話なんですよ」

00:00:27.962 --> 00:00:30.128

店員「何回に1回頼めば良いんでしょじゃないんですよ」

00:00:30.128 --> 00:00:32.127

支援者「そうなんですかね」

00:00:32.127 --> 00:00:37.360

店員「〇〇さんは本当に支援者として気持ちを持って注文してくれるかっていう話なんです」

00:00:38.360 --> 00:00:40.659

店員「それがすべてここに書いてあります」

00:00:40.659 --> 00:00:42.551

支援者「ここで頼むってことはそう言うことじゃないの？」

00:00:42.659 --> 00:00:43.692

店員「じゃないです」

00:00:43.692 --> 00:00:45.691

支援者「俺はそう思ってるんだけど？」

00:00:45.691 --> 00:00:48.224

店員「それは違うってはい私が蹴りました」

支援者「な、なんで違うって言うのがよくわからない」

00:00:48.224 --> 00:00:51.789

店員「それは支援者だからです。クラウドファンディングの支援者だからです」

00:00:51.789 --> 00:00:54.856

店員「〇〇さん、クラウドファンディングの支援者よく調べてください」

00:00:54.856 --> 00:01:01.055

店員「どう意味なのかってすべてが、すべて載ってます」

00:01:01.055 --> 00:01:05.288

支援者「で、ダメな場合...やっつけねえなって場合」

00:01:06.054 --> 00:01:10.720

店員「やっつけねえな、という場合・・・」

00:01:14.019 --> 00:01:17.252

店員「それはでも〇〇さんが決めることですね」

00:01:17.252 --> 00:01:19.052

支援者「うん、なら、やっつけねえなって場合はどうする？」

店員「やっつけねえなという場合は」

00:01:19.052 --> 00:01:22.251

店員「もちろん権利は、もちろん権利は無効になります」

00:01:22.251 --> 00:01:23.251

支援者「権利ってというのは？」

00:01:23.251 --> 00:01:27.950

店員「こちらのパスポートは無効になります。なぜならば利用規約に違反している」

00:01:27.950 --> 00:01:30.416

店員「ご同意いただけなかった違反？しているということで」

00:01:30.416 --> 00:01:35.583

支援者「最初に投資した、投資ていうかそのあの、このパスポートを買った時のお金ってのはどうなるんですか？」

00:01:35.583 --> 00:01:43.713

店員「いやいや同意していないままずっと使われてるので、ここまで食べた回数のお食事というのは、無効のほかに使われたということになってしまいます」

00:01:43.713 --> 00:01:47.713

支援者「うん、んで、俺のあげた1万円というのはどうなるんですか？」

00:01:47.713 --> 00:01:50.255

店員「あーはい、あーいや1万円・・・」

00:01:50.255 --> 00:01:56.641

支援者「あ、うん、俺はもともと...これ入手するために1万円払ったわけでしょ？」

00:01:59.544 --> 00:02:00.910

支援者「それは返してくれんの？」

00:02:00.910 --> 00:02:05.542

店員「あの一入手するために払ったという訳じゃなくて」

支援者「かかか返すことできるの？」

00:02:05.542 --> 00:02:09.308

店員「あのクラウドファンディングで支援してくださった方というのは寄付の方が強いです」

00:02:09.308 --> 00:02:13.974

支援者「募金じゃない」

店員「あのね、買ったものではないんです」

00:02:13.974 --> 00:02:17.073

店員「あくまでもクラウドファンディングとご説明させていただきまして...」

00:02:17.073 --> 00:02:21.515

店員「えーと今あの利用規約の流れを説明しました」

支援者「はい」

00:02:21.515 --> 00:02:24.005

店員「えー4つのお願い事を説明しました」

00:02:24.005 --> 00:02:29.604

店員「利用規約の方に紙？での？？を書いて...お渡しして」

支援者「はい」

00:02:29.604 --> 00:02:34.067

店員「もう一度...にできないというものをもう一度考え直してくださいということで」

支援者「はい」

00:02:39.581 --> 00:02:41.736

店員「説明しますので」

00:02:45.568 --> 00:02:51.500

社長「えと、クラウドファンディングは、何かと思ったんです？」

00:02:51.500 --> 00:02:54.308

支援者「まあ、ねえ、うん」

00:02:54.308 --> 00:02:56.454

店員「ご説明いただいてよろしいですか？クラウドファンディングを」

00:02:58.454 --> 00:03:02.158

店員「あの、おっしゃっていただいてよろしいですか？クラウドファンディングを」

00:03:02.698 --> 00:03:10.325

支援者「なにになにををしたいからお金を集めて、実行して、それに対してどういう...をとっていう」

00:03:11.096 --> 00:03:18.161

社長「あのクラウドファンディングというのは、あの一何か新しいことを・・・まー」

00:03:23.160 --> 00:03:26.226

支援者「西野なんかうまくいってるよねえ、西野なんか」

00:03:26.226 --> 00:03:28.126

社長「あ、そうですね、あのキングコングの西野さん」

支援者「うーん」

00:03:28.126 --> 00:03:33.174

社長「はい、あのクラウドファンディングというのは、なにかこう新しいことをしたい訳」

00:03:33.174 --> 00:03:36.058

支援者「そうそう、だから...だから」

社長「新しいことを」

00:03:36.058 --> 00:03:38.691

支援者「今言っちゃってんじゃない」

社長「あっ、ちょっと違いますねニュアンスが」

00:03:39.057 --> 00:03:42.056

社長「で、えっと、新しいことをするために」

支援者「うん」

00:03:42.056 --> 00:03:51.996

社長「その、プロジェクトが面白いと、思っていた方が、大人数いてお気持ちで支援をいただくっていうのがクラウドファンディングなんですね」

00:03:51.996 --> 00:03:53.149

支援者「うん」

00:03:53.149 --> 00:04:00.230

社長「本店は飛躍したい。こういうことしたい。で、〇〇さんが支援をされたので」

支援者「うん」

00:04:00.230 --> 00:04:06.732

社長「で、そのプロジェクトが面白いから、応援する、支援するという意味での1万円なんです
ね」

00:04:06.732 --> 00:04:08.546

社長「なので、えっと」

00:04:08.751 --> 00:04:15.750

支援者「書いてない。ホームページ上に、この面接を、面接すら書いてなかったけども」

00:04:15.750 --> 00:04:23.681

支援者「うん。あの、永久に、まああのご飯を提供できますというパスポートを、与えますよと
いう事で」

00:04:23.681 --> 00:04:26.181

支援者「それを目的に買った」

00:04:26.181 --> 00:04:31.180

社長「となると、ちゃんとクラウドファンディングをご理解いただくというところからスタート
になると思うんですね」

00:04:31.180 --> 00:04:35.179

支援者「そのお金がクラウドファンディングで使うよっていうみたいな...」

00:04:35.179 --> 00:04:37.679

社長「はい、で、応援いただいていることなので」

支援者「うん」

00:04:37.679 --> 00:04:41.678

社長「で、まず応援いただいているのは我々の活動に...いただくという」

00:04:41.678 --> 00:04:44.677

社長「ご協力いただけるっていうことじゃないですか」

00:04:44.677 --> 00:04:49.004

支援者「いや元々その無料のパスポートっていうのを貰うのを目的に」

00:04:49.004 --> 00:04:53.476

社長「そうすると、えと一番初めにご説明したことが有効になってないです」

00:04:53.476 --> 00:04:56.042

支援者「一番初めの？えーと...」

00:04:56.042 --> 00:04:59.108

社長「あのあの、一番初めにご利用いただく時に」

00:04:59.108 --> 00:05:04.040

社長「あの、本店は、えっとまあクラウドファンディングということで、あの...」

00:05:04.040 --> 00:05:08.763

支援者「多分店の思いと個人の思いのギャップなんだと思います」

00:05:08.763 --> 00:05:12.672

社長「そうですか...なのでこちらの思いを説明させていただいたということで」

00:05:12.672 --> 00:05:15.217

社長「そのご説明の内容というのが」

支援者「うん」

00:05:15.217 --> 00:05:18.279

社長「クラウドファンディングでご支援いただいた、っていうことに関しては、そのありがたい
と思ってることなんですわね」

00:05:18.279 --> 00:05:22.836

支援者「うん、それは俺が1万円あげたっていうことだと思ってる」

社長「そうですね、はい、で」

00:05:22.836 --> 00:05:27.086

支援者「それで店ができているということで、そういう気持ちの集まりじゃないですか」

00:05:27.086 --> 00:05:30.799

社長「そうですね。で、それが応援いただいているということですので」

支援者「うん」

00:05:30.799 --> 00:05:34.707

社長「で、今、おっしゃってるという言葉そのままお話しすると」
支援者「うん」

00:05:34.707 --> 00:05:38.700

社長「1万円を我々にくれて、我々のお店の...」

00:05:38.700 --> 00:05:41.921

支援者「パスポートを貰ったという...」

00:05:44.209 --> 00:05:46.209

社長「違うと思います。今の」

00:05:46.209 --> 00:05:48.314

社長「はい、パスポートを貰うために、あつ違う...」

00:05:48.314 --> 00:05:52.243

社長「パスポートを貰うために1万円を支援なされたんですか？」
支援者「そうそうそう」

00:05:52.243 --> 00:05:56.467

社長「その、我々を応援するために1万円を支援なされたんですか？どちらですか？」
支援者「前者」

00:05:56.467 --> 00:05:58.290

社長「はい？」
支援者「前者、前者」

00:05:58.290 --> 00:06:00.630

社長「そうになると、利用規約がダメなんですよこれ」

00:06:00.630 --> 00:06:05.317

社長「クラウドファンディングという言葉を理解いただいてない、です、はい」

00:06:05.317 --> 00:06:12.939

社長「で、そのクラウドファンディングに豪華なものをまず1万円を、入れていただいたというのは我々も感謝しかないですよ」
支援者「うん」

00:06:12.939 --> 00:06:17.665

社長「で、クラウドファンディングのご説明に関しては、あの、まあ、えと、何人かの方はやっぱり」

00:06:17.665 --> 00:06:20.906

社長「あのクラウドファンディングのご理解をいただいてない方がいらっしゃるの」

00:06:20.906 --> 00:06:23.659

支援者「俺は理解してないですよ」

社長「そうですね」

00:06:23.659 --> 00:06:28.601

社長「クラウドファンディングというのは、我々の、こういうことやりたいこととかこういうのするの寄付なんですよ」

00:06:28.601 --> 00:06:30.806

支援者「ん？」

社長「寄付ですよ、寄付！」

00:06:30.806 --> 00:06:35.433

社長「例えばコンビニとかで赤い募金箱とかあるじゃないですか」

支援者「うん」

00:06:35.433 --> 00:06:41.052

社長「そういうのに 500 円入れたときに、なにか堅い、意識されますと」

00:06:41.276 --> 00:06:42.475

社長「500 円寄付」

00:06:42.475 --> 00:06:44.475

社長「寄付」

支援者「寄付はねえ」

00:06:44.475 --> 00:06:48.617

社長「そうなんですよ。で、基本的に寄付なんですよ。前提として」

00:06:48.617 --> 00:06:50.812

社長「大前提として寄付なんですよ」

00:06:50.812 --> 00:06:57.119

社長「寄付なんでも、ありがとうございますって返礼品をお返ししてですね」

00:06:59.518 --> 00:07:05.617

支援者「そこがズレてると思う。宣伝とホームページの書き方と」

00:07:05.617 --> 00:07:09.507

社長「で、ホームページはクラウドファンディングのプラットフォーム使ってるんで」

支援者「うん」

00:07:09.507 --> 00:07:12.469

社長「支援いただく方の裁量になってしまうんですね」

00:07:14.416 --> 00:07:16.416

社長「そうなんですよ」

00:07:16.416 --> 00:07:18.571

社長「で、その??を我々が」

00:07:20.810 --> 00:07:23.685

社長「あの、あの一地域の事業を盛り上げる事業を...」

00:07:23.685 --> 00:07:26.785

支援者「そんなことビジネスホテルにするっていう感じがする」

00:07:28.147 --> 00:07:31.067

社長「はい。ありがとうございます。まったくもってですね」

支援者「はい」

00:07:31.067 --> 00:07:32.934

社長「なので...」

00:07:32.934 --> 00:07:39.677

支援者「??あの 1000 人を募集してて、これ 1 万円でやってもらえるんだよね？」

00:07:42.850 --> 00:07:48.243

社長「承諾された詳細が必要です。それもホームページに載せてたんで...」

00:07:48.243 --> 00:07:49.217

支援者「どこの？どこの？」

00:07:49.217 --> 00:07:51.699

社長「クラウドファンディング上の...」

00:07:51.699 --> 00:07:53.632

支援者「それは後付けです」

00:07:53.632 --> 00:07:56.566

社長「後付けじゃないです。あの一ちゃんとそこで」

00:07:56.566 --> 00:08:02.178

社長「なんで...そうなんです、なんで我々...100名の1000名のご支援された方で」

00:08:11.386 --> 00:08:19.328

社長「で、なぜかというところの...地方を盛り上げたいから」

00:08:20.691 --> 00:08:25.881

社長「応援したいと、我々も、投資というか投資じゃないんですけど」

00:08:25.881 --> 00:08:29.309

社長「支援したいという方が多くいらっしゃったんですね。100名がすぐ売り切れたと」

00:08:29.309 --> 00:08:32.364

社長「1000名ともっと増やしていったと」

00:08:32.364 --> 00:08:34.795

社長「で、その方々にわたし聞いたんですよ...」

00:08:35.282 --> 00:08:37.888

社長「それは一緒にお店を盛り上げていこうと」

00:08:37.888 --> 00:08:40.393

社長「??たら、そうなんだと」

00:08:40.566 --> 00:08:49.080

社長「一緒に納豆ご飯専門店を、我々の商法でやりたい支援したい...たい寄付したいって方が多かったの」

00:08:49.080 --> 00:08:52.505

社長「私達はその言葉を信じて 1000 名に増やしてですね」

00:08:53.294 --> 00:08:55.543

社長「なので...その」

支援者「1000 人ねw」

00:08:58.367 --> 00:09:03.013

支援者「1000 人とか増やしてほしいっていう...そのお金でってこと？」

00:09:03.013 --> 00:09:04.292

社長「そうですね、はい」

00:09:05.412 --> 00:09:08.464

社長「なので増やしたんですね」

00:09:08.464 --> 00:09:12.191

社長「んで一えーと、まあ、こう支援いただいて非常にありがたいんで」

00:09:12.191 --> 00:09:15.561

社長「できるだけたくさんの方が私達を応援してくださると、いうことで」

00:09:15.561 --> 00:09:20.991

社長「我々も最大限、その、あの皆さん、思いはそれはそうなんですけど、その」

00:09:20.991 --> 00:09:26.725

社長「地方創生だったり応援しますとか、そういうコメントいただいたと思うんですけど、ホームページ上で」

00:09:26.725 --> 00:09:30.867

社長「なので、納豆ご飯??迎えるにあたり」

00:09:30.867 --> 00:09:35.739

社長「我々もいろんなおいしい納豆とかを紹介したい、おあげしたいという思いがあるので」

00:09:35.739 --> 00:09:39.612

社長「そのずれない思いにご説明させていただくという」

00:09:42.484 --> 00:09:48.282

社長「先ほどのお話伺った限りクラウドファンディングの1万円を買ったという事になると」

00:09:48.282 --> 00:09:54.784

社長「1万円買ったと、こうおっしゃるという事はクラウドファンディングってことをご理解いただいてないと思ってしまいますので」

00:09:54.784 --> 00:09:56.245

社長「そうすると...」

00:09:56.245 --> 00:10:01.410

支援者「そらね、買ったって言うのが、いくらクラウドファンディングの支援と言ったって」

00:10:01.410 --> 00:10:03.410

社長「それは、えと2つ？の思い？があります」

00:10:03.451 --> 00:10:05.903

社長「大前提として応援する

00:10:07.120 --> 00:10:11.098

社長「なのでそれをご理解いただくためにいろいろお話ししていて」

00:10:11.098 --> 00:10:14.020

社長「一番初めに、お話しをしたんですね」

00:10:15.675 --> 00:10:19.327

支援者「今日？今日？どこでっていう話？」

00:10:19.327 --> 00:10:24.985

社長「はい、一番初めの、お客様がスタッフに言われたところが、いただてるんですよ」

00:10:26.835 --> 00:10:31.812

社長「これはもうスタッフに教育を徹底的にやらせました。皆様に・・・」

00:11:00.682 --> 00:11:07.112

支援者「俺の頭の中ではあの、1万円で無料パスポート買ったっていう印象の方が全然強いですね」

00:11:07.112 --> 00:11:10.803

支援者「それでここにきて利用規約を...」

00:11:15.118 --> 00:11:17.994

支援者「無料パスポートを使え??」

00:11:19.405 --> 00:11:23.200

社長「あのーうん、そのインターネットで何か物を買ったという...」

00:11:26.949 --> 00:11:28.949

社長「それはないですね」

00:11:28.949 --> 00:11:32.185

社長「それは一切ないです」

00:11:48.269 --> 00:11:54.324

社長「なので、ぜひ、あの、いろんなものをお召し上がりいただいたりとか、ぜひ」

00:11:54.369 --> 00:12:02.024

社長「ぜひお願いしてもらえると、盛り上げたいんです?? ご理解いただきたいんですけど」

00:12:02.024 --> 00:12:04.608

支援者「やりたいっていうのは」

社長「まあ、もちろんですよ」

00:12:22.379 --> 00:12:24.792

支援者「まあ、俺自体、その一」

00:12:32.501 --> 00:12:36.741

支援者「何か駐車場の方が、無いっていうのがあって」

社長「そうなんですよね」

00:12:36.741 --> 00:12:41.979

支援者「駐車場のお金も考えないといけないでしょ、あのねえ」

00:12:52.710 --> 00:12:56.268

社長「えっと、あのーまあ、その、お客様に対して」

00:13:04.885 --> 00:13:09.708

支援者「??というのをある程度考えてるのかっていうのをアレは俺は思っていた」

00:13:09.708 --> 00:13:12.730

社長「いえ、それはクラウドファンディング」

00:13:17.583 --> 00:13:21.530

社長「11名いらっしゃいますね。で、その方が何をされたかという」と

00:13:27.080 --> 00:13:29.080

社長「早く持って来いとか」

支援者「うん」

00:13:29.080 --> 00:13:33.407

社長「あとは、こう??な??ですね」

00:13:33.407 --> 00:13:38.371

社長「むこうに??という方がいたりだとか」

00:13:38.371 --> 00:13:43.844

社長「あとはあの、まあ??に募集されたという事で」

00:13:43.844 --> 00:13:50.588

社長「??パスポートを持っている方が??俺の店だとか??だとか、けしてその」

00:13:52.243 --> 00:13:54.243

社長「そういう方が」

00:13:56.381 --> 00:13:58.381

社長「ちょっと、あの、??できないですって」

00:14:00.381 --> 00:14:05.010

社長「そういう方がいますから、??何回かやってるんです、された人って」

00:14:05.010 --> 00:14:13.583

社長「そういう方がいると思うから我々も皆様にパスポートをね、剥奪されたという」

00:14:16.260 --> 00:14:18.747

社長「それは支援を受けたことを感謝している訳ですから」

00:14:18.747 --> 00:14:21.019

社長「10分くらい利用規約をお話しされますと」

00:14:21.019 --> 00:14:25.604

社長「でも、やっぱりなにあってんの？という風になっちゃうんで」

00:14:25.604 --> 00:14:31.499

社長「で、最終的にそこの看板とか足元のを壊して、帰られる方がいらっしゃったりとか」

00:14:31.499 --> 00:14:33.573

社長「んで、あの、まあ...」

00:14:35.865 --> 00:14:38.157

社長「ということで、ちょっと1万円のそのご利用を

00:14:39.277 --> 00:14:43.467

社長「支援をなされるという気持ちが無いんじゃないですか、ということで、すいませんが」

00:14:43.467 --> 00:14:48.957

社長「ちょっとあの????のお客様としての??ご利用ができないってことで」

00:14:48.957 --> 00:14:50.957

社長「失効させていただくって方が」

00:14:50.957 --> 00:14:54.072

社長「そういう方っていうのは、あのまあ、ちょっと」

00:14:54.072 --> 00:15:03.199

社長「????が強いですからね、許せないということでインターネットでの口コミを書かれて、それで、まああの一方的に、こういう感じであったと」

00:15:03.199 --> 00:15:11.328

社長「我々が事実をお話ししたとしても、やっぱりそこはお客様と...する姿勢で、なりますから」

00:15:11.328 --> 00:15:15.004

社長「まあ、それで齟齬（そご）が、ということで」

00:15:15.004 --> 00:15:20.000

支援者「無料パスポートっていう言葉が一番の原因かもしれないですね」

00:15:20.536 --> 00:15:22.536

支援者「そういうの思っちゃう人が多い」

00:15:22.536 --> 00:15:28.031

支援者「??がいるはず。まあ俺も」

00:15:28.031 --> 00:15:35.435

社長「支援いただいた方が 1101 名。そのうちの 11 名の方が失効されたので、全体で 1%になります」

00:15:35.435 --> 00:15:43.700

社長「で、今ご理解ご利用いただいているって方というのは、そのパスポートを持って日常的にいらっしゃってる形で、40 回から 50 回という方がいます」

00:15:43.700 --> 00:15:47.985

社長「で、そういう方はやっぱり、あの応援してるよって」

00:15:47.985 --> 00:15:52.244

社長「インターネットでなんかこう口コミを書いたらこっちにも飛び火しちゃうから何にも書けないけど」

00:15:56.480 --> 00:15:59.259

社長「まあ、で、それはすごいありがたいお話ですけど」

00:15:59.259 --> 00:16:03.985

社長「...新しい商品ができたならまた試させていただくっていう形でこう」

00:16:03.985 --> 00:16:09.783

社長「クラウドファンディングを、起案者と支援者で...ことと...いただいているっていう??いらっしゃるんですね」

00:16:11.496 --> 00:16:15.501

社長「で、その1%の人...ご理解いただいてない方で」

00:16:15.501 --> 00:16:19.725

社長「ご理解いただいてる方が、だいたい主なので」

00:16:23.084 --> 00:16:25.376

社長「パスポートが怖いんだとか」

00:16:25.422 --> 00:16:29.757

社長「ただ、あの。折角ね、ご来店いただいておりますので」

00:16:29.757 --> 00:16:32.438

社長「ご支援をいただいているので感謝してると」

00:16:32.438 --> 00:16:38.521

社長「だからそういう方に、あの??が我々のクラウドファンディングに寄与してるという事で」

00:16:38.521 --> 00:16:42.385

社長「こういう風にそうやってそのいらっしゃる時にこういう風にお話になったほうが

00:16:42.385 --> 00:16:46.868

社長「支援者にちゃんとこうご説明しようかなと思って・・・います」

00:16:46.868 --> 00:16:51.976

社長「なのでぜひその...クラウドファンディングって言うのをご理解いただけると、あのー」

00:17:05.949 --> 00:17:07.949

社長「お召し上がりいただくって方が」

00:17:07.989 --> 00:17:13.494

社長「ご飯を大盛りにされる方とか、味噌汁を」

00:17:14.906 --> 00:17:18.561

社長「トッピングを1つ必ずつけてください」

00:17:18.561 --> 00:17:24.982

社長「あとはまあ、あの、家で、その無料セットと同じようなもので食べたい、楽しみたいという方には、その一」

00:17:24.982 --> 00:17:30.000

社長「そこの納豆とかを買っていただくとか、そういう感じでやっていただいているものですから」

00:17:30.000 --> 00:17:31.650

社長「ぜひそういう感じで」

00:17:31.650 --> 00:17:33.650

支援者「??大盛りで頼んでんだけど」

00:17:33.650 --> 00:17:35.432

社長「ありがとうございます」

00:17:40.000 --> 00:17:42.377

支援者「ダメだって言ってたんだもの」

00:17:42.377 --> 00:17:44.669

社長「それは...どうなのでしょう。ちょっと待ってください」

00:17:44.669 --> 00:17:46.912

支援者「??でお願いしますっていう」

00:17:46.912 --> 00:17:48.779

店員? 「ああ、そういうことですね」

00:19:25.809 --> 00:19:27.809

店員? 「頼んでいただいているっていう風に認識してらっしゃいますね」

支援者「うん」

00:19:27.809 --> 00:19:30.671

店員? 「なお、その??例えばまあ??とかコッペパンだとか

00:19:30.671 --> 00:19:32.671

店員? 「できればバランスよく」

00:19:34.367 --> 00:19:37.204

店員？「納豆だけじゃなくてですね、その例えばですけど」

00:19:43.387 --> 00:19:48.113

店員？「今日あの、お約束をしてちゃんとお客様に認識されたみたいなので

00:19:48.113 --> 00:19:50.113

店員？「それ以外となると??」

00:19:53.375 --> 00:19:56.836

店員？「だからちょっと適当にこうバランスよくいただけると、ぜひ・・・」

00:19:56.836 --> 00:20:00.000

支援者「まあ、俺の中では、でも」

00:20:00.000 --> 00:20:02.000

店員「コッペパン 2 回目ですね」

00:20:22.010 --> 00:20:29.365

店員？「お話の中でなるべく安いものと言われたので、そのあたりもちょっと」

00:20:29.365 --> 00:20:31.365

支援者「そこは俺も引っかけたの」

00:20:31.800 --> 00:20:35.698

店員？「あのーそれではやっぱり感想いただけないですし」

00:20:35.698 --> 00:20:37.687

店員？「その後のちょっと支援の気持ちも」

00:20:44.211 --> 00:20:46.211

店員？「コッペパン 2 個で 2 回目だったんで」

00:20:46.211 --> 00:20:50.000

店員「その??にいただくっていうのがいただけてないかなって思ったんです」

00:20:55.161 --> 00:20:58.329

店員「??ますから、ぜひ??に、はい」

00:21:19.028 --> 00:21:21.028

社長「今日お召し上がりになったんですか？」

00:21:21.028 --> 00:21:24.072

支援者「いや、まあ」

00:21:24.072 --> 00:21:26.039

社長「ありがとうございます」

00:21:26.908 --> 00:21:28.867

店員？「またお待ちしておりますので、はい、はい」

00:21:31.334 --> 00:21:47.590

※※やり取り終了※※